



インフルエンザ流行中!! うつさないうつらない!

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 6 週分・2 月 6 日～2 月 12 日)

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

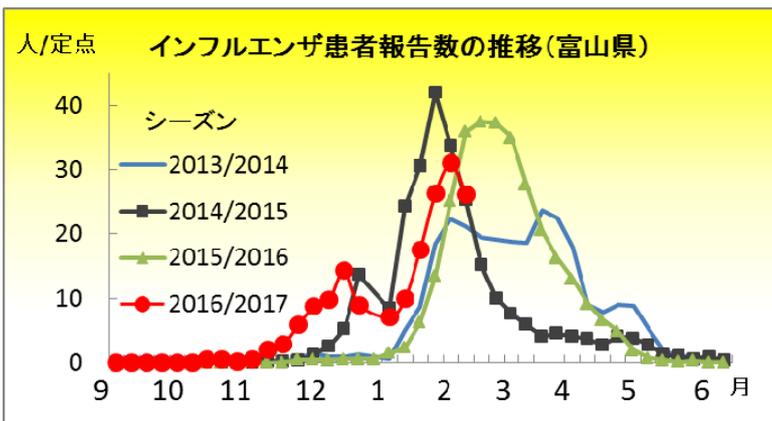
今週、インフルエンザの報告数が定点医療機関あたり 26.17 人となり、先週 (30.92) から減少しました。今シーズンは昨年第 51 週 (12 月 19 日～25 日) に注意報レベルとなる定点医療機関あたり 10 人を超え、**先週警報レベルとなる 30 人を超えました**。1 月に入ってから報告数は急増しており、現在流行のピークを迎えていると思われます。

インフルエンザによる学級閉鎖等の措置も続いています。今シーズンの合計は 2 月 14 日までに 153 件 (保育所・幼稚園 18、小学校 105、中学校 23、その他 7) となりました。

全国のインフルエンザウイルスの検出状況は、AH3 (香港型) が 2,541 件 (91.6%)、AH1pdm09 が 127 件

(4.6%)、B 型が 105 件 (3.8%) となっています。県内では、AH3 (香港型) が 84 件、AH1pdm09 が 2 件、B 型が 2 検出されています。**県内のインフルエンザの流行は、今後しばらくは報告数の多い状態が続く**と思われます。

引き続き次のことに注意して感染予防に努めてください。



- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 集団生活施設では、可能な場合、流行期の全員マスクの着用が効果的
- 意識がもうろうとするなどの重症感がある場合は、直ぐに医療機関を受診

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 8 件 (①第 5 週診断分: 70 歳代、女性 ②40 歳代、男性 ③40 歳代、女性 ④、⑤ともに 50 歳代、女性 ⑥50 歳代、男性 ⑦80 歳代、女性 ⑧90 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点医療機関あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	インフルエンザ	26.17	30.92	↓
2 位	感染性胃腸炎	6.41	6.72	↓
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55	1.76	↓
4 位	流行性角結膜炎	1.43	1.52	↓
5 位	流行性耳下腺炎	1.10	1.29	↓
6 位	R S ウイルス感染症	0.90	0.76	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第6週 平成29年2月6日～平成29年2月12日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1		2	1	3	7	2	1	4	3	12	22
四類感染症	A型肝炎							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症									3		1	4
五類感染症	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4		4
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症									1		3	4
	梅毒									1			1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	234 33.43	205 41.00	340 26.15	140 20.00	337 21.06	1,256 26.17	1,112	710	1,468	831	1,541	5,662
	RSウイルス感染症	1 0.25	3 1.00	3 0.38		19 1.90	26 0.90	11	13	10	5	144	183
	咽頭結膜熱			2 0.25	4 1.00	5 0.50	11 0.38	1	6	36	12	25	80
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50	1 0.33	18 2.25	7 1.75	17 1.70	45 1.55	19	9	78	41	75	222
	感染性胃腸炎	38 9.50	24 8.00	24 3.00	26 6.50	74 7.40	186 6.41	293	185	213	151	562	1,404
	水痘			2 0.25		2 0.20	4 0.14		6	11	9	24	50
	手足口病			4 0.50			4 0.14			37	4		41
	伝染性紅斑				1 0.25	1 0.10	2 0.07				1	3	4
	突発性発しん	1 0.25	1 0.33	3 0.38	3 0.75	1 0.10	9 0.31	7	3	19	8	14	51
	百日咳									2			2
	ヘルパンギーナ				1 0.25		1 0.03			4	1		5
	流行性耳下腺炎	3 0.75	1 0.33	18 2.25		10 1.00	32 1.10	22	5	146	21	82	276
	急性出血性結膜炎									1			1
	流行性角結膜炎			10 5.00			10 1.43		1	49	1		51
	細菌性髄膜炎	1 1.00					1 0.20	1					1
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00			1 1.00	2 2.00	4 0.80	4	2	3	5	4	18
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				1 1.00		1 0.20	1			1	2	4
	インフルエンザによる入院患者（*）	4		1	5	9	19	29	2	16	51	58	156

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

インフルエンザ定点における患者診断状況

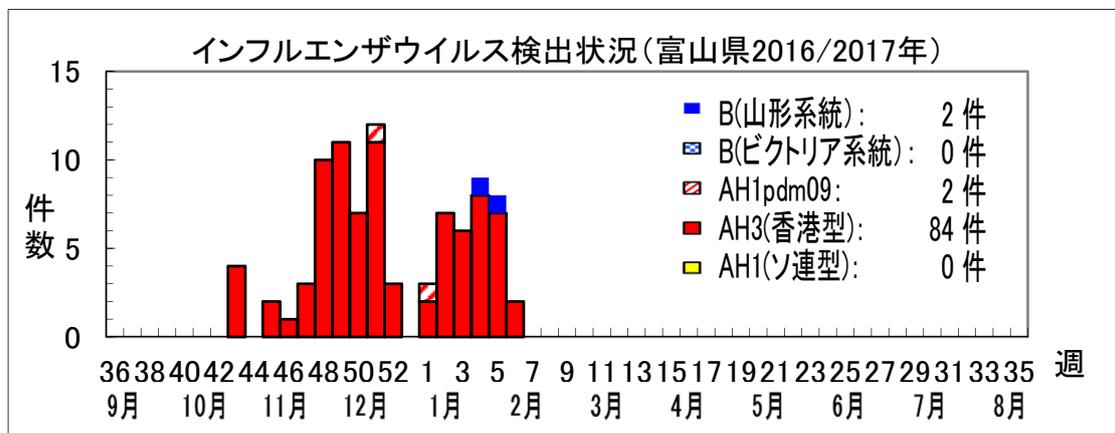
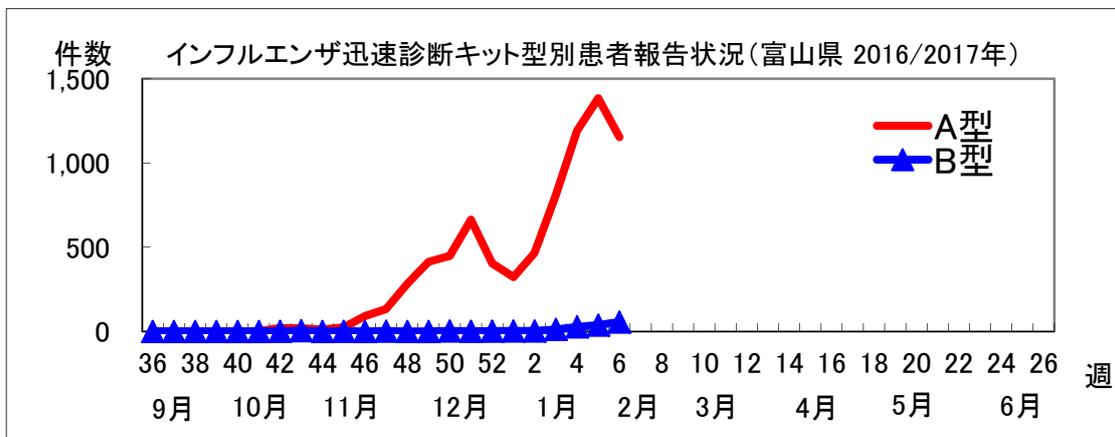
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型が91.8%となっています。

第6週(2/6~2/12)：富山県 26.17人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	207	23	4	234
中部	5 / 5	168	2	35	205
高岡	13 / 13	320	6	14	340
砺波	7 / 7	139		1	140
富山市	16 / 16	319	25	4	337
富山県	48 / 48 ※1	1,153	56	58	1,256
富山県累計(2016年36週~)		7,837	154	286	8,277

※1 報告定点数の例(48/48の場合):48の定点医療機関すべてで、インフルエンザと診断した報告があったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





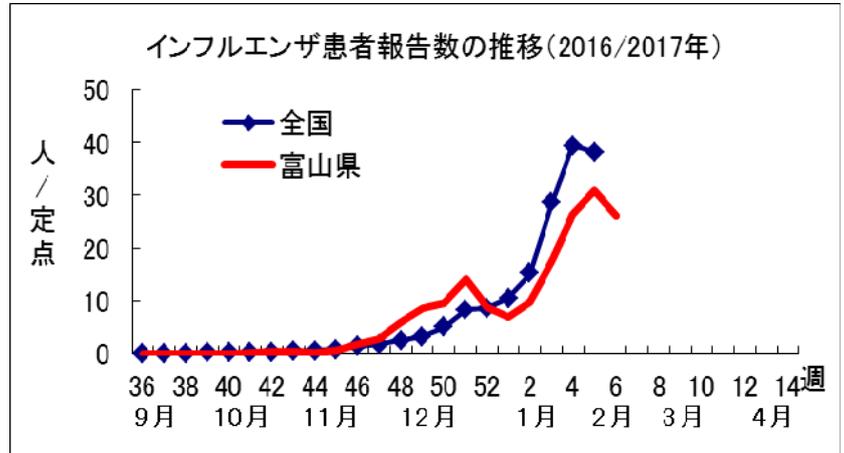
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/6~2/12) : 富山県 26.17 人/定点

新川 HC (33.43)、中部 HC (41.0)、高岡 HC (26.15)、砺波 HC (20.00)、富山市 HC (21.06)

先週、県内は警報レベルの目安である定点医療機関あたり 30 人を超えました。

今後、しばらくは報告数の多い状態が続くと思われます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (1/30~2/5)

全国の患者報告数は、定点あたり 38.14 人となり、前週の定点あたり 39.41 人より減少しました。19 道府県で前週より報告数が増加しています。

